



AEDと心肺蘇生 年齢別対応表

JRC 蘇生ガイドライン 2015 準拠

救命処置		年齢 (目安)	乳児 (1歳未満)	小児 (1歳以上～およそ15歳未満)	成人 (およそ15歳以上)
通報		反応がなければ大声で周りに助けを呼ぶ 119番通報・AEDの手配 (口頭指導を受けられる)			
呼吸の確認		普段どおりの呼吸をしていない (10秒以内で確認)			
心肺蘇生法	胸骨圧迫	圧迫の位置	左右の乳頭を結ぶ線の少し足側	胸の真ん中、胸骨の下半分	
		圧迫の押し方	指2本	両手または片手	両手
		圧迫の深さ	胸の厚みの1/3		約5cm (6センチを超えない)
		圧迫のテンポ	1分間に100～120回		
	人工呼吸	吹込み方法	口対鼻口	口対口	
		吹込み回数	約1秒かけて2回吹き込む (入っても入らなくても1秒以内)		
	胸骨圧迫と人工呼吸		胸骨圧迫30回と人工呼吸2回 (省略可能) を繰り返す (人工呼吸は、その意志と技術がある場合)		
AED	電極パッド	小児用	未就学児：小児用 (※0歳～およそ6歳)	成人用	
		無い場合や迷った場合は成人用			
電気ショック後		AEDの音声ガイダンスに従い、心肺蘇生を続ける			
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 助けを呼んでなるべく複数人で対応しましょう。 ✓ 心停止が分からない場合や迷った場合は胸骨圧迫を開始しましょう。 ✓ 胸骨圧迫は、強く、早く、しっかり戻して、絶え間なく。 ✓ 胸骨圧迫の中断を最小限に (10秒以内) AEDを準備している時間などもなるべく胸骨圧迫しましょう。 ✓ 電気ショック不要となっても、心肺蘇生法を続けましょう。 ✓ 電極パッドを一回貼ったら救急隊員に引き継ぐまで剥がさない。(意識が戻っても貼ったまま様子を見ましょう) 				